

はち まる にい まる
8020



第 23号

発行：静岡県8020推進住民会議
事務局 静岡県歯科医師会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-3-10
TEL (054) 283-2591
編集：8020運動推進部

推進員だより

「歯科医師との関わり」

静岡県8020推進住民会議委員

静岡県薬剤師会 副会長 三浦 正人



今年度、2期目の「静岡県8020推進住民会議委員」の委嘱を受けました。静岡県薬剤師会の三浦です。私は大学卒業後3年余り、松へ帰って参りました。浜松では薬局へ勤務致しました。当時の薬局はまだ一般販売の独立店が多く、医薬品販売はもとより衛生用品、介護用品、家庭用品等々販売しておりました。特売日ともなるとティッシュやトイレットペーパーを運んだり洗濯洗剤を並べたりと大忙しでした。薬学部を出てこれが仕事かと辛くなる毎日でした。でも近隣に歯科医院があり処方箋を頂いておりました。

からの処方箋は皆無の時代でした。近隣の歯科医院には同年輩の若いドクターが多く見え、食事に行ったり飲みに行ったりもよくしました。医薬品のことはいくらも勉強しましたが歯科治療のことはまるっきりの素人です。今思えば患者さんに申し訳なかつたと思います。当時、歯科処方薬ではまだニューキノロンは無く、セフェムとマクロライド、まれにテトラサイクリンの処方があったかと記憶しております。

ある時、抜歯の患者さんが処方箋を持ってこられました。処方箋にはイブプロフェンと含嗽剤のみの処方でした。私は抜歯したら必ず抗生剤が処方されるものと理解しておりましたので問い合わせをしたところ院長先生から「馬鹿がおまえは！あんな簡単な抜歯はインジンでうがいしてれば問題ない」と一括されました。まあ、いつも怒られていた

したので特に気にもせず受話器を置きました。その夜、院長先生が薬局に來られ「三浦、行くぞー」と飲みにつれて行って頂きました。そこで今日の処方意図について根掘り葉掘り伺いました。上顎抜歯と下顎抜歯・埋伏抜歯の違い、歯周病の薬剤等々教えて頂きました。大学病院では聞くことのできない生の教えに感謝しました。

また、若いドクターの中には漢方に興味を持っておられる先生もいらして、歯痛からくる肩こり・頭痛に漢方薬での対応などを一緒に勉強させて頂きました。今思い出すと本当に懐かしい青春時代でした。

さて今回、再度推進委員の委嘱を受け、微力ではございますが薬剤師会を代表しまして全面的に協力させて頂きたいと思っております。ご指導、ご鞭撻宜しくお願致します。

予告

「平成25年度 8020推進・静岡県大会」開催

日時：平成26年2月15日（土） 13：00～16：00

会場：グランシップ「交流ホール」（JR東静岡駅隣接）

〈大会概要〉

- ・8020関係表彰（8020県民表彰・8020童話賞 他）
- ・8020推進活動報告
- ・パネルディスカッション with 参加者

- テーマ：1.「歯の健康について」（仮）
2.「歯ぐきの健康について」（仮）
3.「歯を大切にするといくら得するの？」（仮）



8020 推進員活動

三島市8020推進員会
会長 南方 甫



紙芝居

「迷子になった前歯」

なみちゃんは小学校の一年生、未だ虫歯がありません。

教室内はシーンと静まり、60のキラキラ輝く瞳が一斉に、なみちゃんを見つめ、メルヘンチックな世界に入り込んで行きます。

写真は、私達三島市8020推進員会のある日の三島幼稚園での紙芝居開幕シーンです。

当初私たちは、寸劇・お口の体操・歯のお話・歯の磨き方等、かなり現実的な手法で8020活動を展開しておりましたが、いずれも大人的で子ども達の関心を集中させるには物足りなさを感じておりました。

そんな悩みを抱えていた時、第5回8020推進静岡県大会で紙芝居「迷子になった前歯」が披露され、私たちの活動を、強力に後押ししてくれました。

紙芝居の大きさを見易いように、A3からA1に拡大し、どこへでも持ち運びが出来るように枠を組み立てパイプ式に作り上げました。

役者は9人、ナレーター・おとうさん・おかあさん・なみちゃん・歯ブラシ君・とんがり帽子の歯・なみの歯と画面引き2人です。

もちろん1人2役を演ずれば、5〜6人でも可能です。



従来紙芝居は、一人の役者が太鼓を叩き画面を引きながら声色を変え演じてます。

しかし寸劇からスタートした私達にはそれぞれの台詞の中に、込められた願いを、それぞれの役者がしっかりと伝えたいという思いから、登場人物数だけ声優をそろえ、寸劇と紙芝居合体の紙芝居劇風なものが出来上がりました。

メルヘンチックな世界から、現実に戻った子供たちの記憶の中には必ずや、なみちゃんや、歯ブラシ君の言葉が残りに残りに残っています。

8020 童話えほん完成！ 素晴らしいえほんができました。

静岡県8020推進住民会議委員
デザイナープロデューサー 甲賀 雅章

8020大賞で優秀賞に輝いた二篇の童話。受賞当時、小学校4年生と中学校3年生によつて書かれたその作品は、瑞々しい感性と勢いに溢れていた。

8020推進運動を幅広い世代に認知してもらい、さらにわかりやすい活動に展開して行くことを目的に始められた童話賞も今年10回目を迎える。過去の応募作品総数731点、その中から二つの作品を選び絵本として世に出す。

しかも、これからが楽しみな若いクリエイターに託す。これは素晴らしい試みであるといえる。

そして、原作者のメッセージ、意図、思いを二人の若きクリエイターは、見事にビジュアル化してくれた。「小野かおる」さんの「なぞなぞ森の魔女」は、その原作の雰囲気通り、「栗山なつき」さんのソフ

トで味わい深いイラストにより、所謂絵本らしい絵本に仕上がった。

そして、もう一篇の「海老岡秀斗」さんの「歯にも言わせて」は、原作が大阪弁ということもあり、アーティストの「鈴木絢」さんは、今までの絵本の概念を崩すような、各ページが一つのポップアート作品を

思わせるような大胆な絵と構図を取り入れた。結果、原作のリズミカルな文章がさらに表情を持ち、まるで声聞こえてくるような仕上がりになっている。

表現者同士のコラボレーションは実に面白い。上手いけば1+1が3にも4にもなつて返ってくる。今回の絵本は、その手本のよ

うな作品に仕上がっていると言える。

